

平成24年度 第1回経営協議会議事録

日 時 平成24年5月25日（金）14時00分～15時25分

場 所 事務局大会議室

出席者 石川、石村、伊藤、北原、杉田

伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋の各委員

欠席者 川勝、草間、松井、杉山の各委員

陪席者 大戸監事、徳山監事

中村、村井、佐藤、木村の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成23年度第6回経営協議会議事録（案）、平成24年度臨時（4月5日メール審議）経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 国立大学法人静岡大学学長選考会議委員の選出について

議長から、任期満了に伴う標記会議委員の選出について、経営協議会学外委員4名を選出する必要性及び前任の石村、杉田、伊藤、北原の4委員の選出理由（北原先生には国立大、私立大に在職され、大学コミュニティーの一員という立場から、石村先生には地元産業界という立場から、杉田先生には、本学の卒業生であり、県教育界でのご経験者の立場から、伊藤先生には、弁護士という立場で、法律関係を含め適切な学長選考のあり方についてご意見をいただく。）について、参考資料により説明があった。

続いて委員から、各分野における立場及び審議の継続性から、引き続き4氏にお願いしてはどうかとの意見があり、審議の結果、石村、杉田、伊藤、北原の各委員をこれを選出した。

なお、議長から、同会議委員のうち、教育研究評議会が選出する評議員4名については、4月の教育研究評議会において、梅澤教育学部長、荒川情報学部長、東郷工学部長、鈴木農学部長が選出された旨の報告があった。

III 報告事項

1 平成23年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について

浅利委員から、平成23年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について、資料1により報告があった。

（意見交換で出された主な意見等）

〔⊕〕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等〕

⊕：各改善要望事項における役員会の基本方針について、担当役員が対応

するのか。また、対応については期日を記載する必要があるのではないか。

△：期日の記載について、検討を求められている事項については、「検討する」旨の表記とし、具体的に示していないが、内容により、具体的取り組みを実施するものについては、早期に対応していきたい。

また、改善要望事項は各部局等が中期計画・年度計画の遂行の中で基本方針に添って取り組むこととしている。

⊕：地域社会での本学の存在意義を位置づけるために、静岡市、浜松市の両政令市との協議を開始するという抽象的な表現ではなく、避難住民の受入れ等、本学から両市に積極的に働きかける内容で記載することはできないか。

△：県、市との関係については、防災総合センターの取り組みの中で、防災関係者との連携は強くなっている。避難場所、備蓄品等については、更に具体的に県、市と検討を重ねていきたい。

2 平成23年度の静岡大学の主な取り組みと現状について

議長から、平成23年度の教育、研究、社会連携及び業務運営・財務内容等に係る主な取り組みについて、資料2により報告があった。

(意見交換で出された主な意見等)

[⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等]

(1) 教育に関する主な取り組みについて

⊕：学部横断セミナーについて、どの様な考え方で導入したか。

△：新入生セミナーを学部横断的に実施していたが、学部責任制として、大学の入門的な事を行うこととした歴史があり、本制度となった経緯は、他学部の学生との交流・議論の場を要望する学生からの声があったことによる。

⊕：アクティブラーニングは専門科目でも実施すべきでないか。

△：既に各学部の専門科目において取り組んでおり、平成23年度においては、学部横断でアクティブラーニングを導入した。

⊕：防災マイスター称号制度について、地域に対しての貢献も高いことから、今後も推進していただくとともに、取り組みについてPRしてほしい。

⊕：共通教育カリキュラム改革に取り組む上で、進路選択の自由度や多様化を踏まえ、科目選択の自由度や選択の幅の拡大に向け、更に検討願いたい。

(3) 社会連携に関する主な取り組み

⊕：イノベーション社会連携推進機構の名称について、外部に対しても解りにくく、目的を明確にした上で、名称の変更又は愛称を付すことを検討してはいかがか。

△：名称については議論を重ねてきたが、これまでとの継続性の意味からも同名称としたが、さらに再度検討していきたい。

- ⊕：防災フェロー等の称号を取得した者に対して、活躍できる場所や処遇面に反映できるよう制度化に向け、検討していただきたい。
- △：学士課程における防災マイスター、防災専攻といった修士課程における副専攻の検討、社会人における防災フェローといった、防災教育ピラミッドの様な仕組みができればと良いと考えている。

3 経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した、主な取組事例について

山崎委員から、平成23年度における経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した、主な取組事例について資料3により、報告があった。

4 教職員就業規則の一部改正について

山崎委員から、山崎委員から、3月16日に開催した第6回経営協議会において、審議・承認いただいた、教職員就業規則の一部改正において、人事院勧告分として、平成18年の給与体系の改正に伴う経過措置として実施されている、現給保障について、平成26年3月を以って、廃止することを平成24年4月1日からの就業規則の一部改正に含めていたが、その後の教職員組合との協議の結果、4月以降もこの項目について協議を継続することとしたため、この現給保障の廃止を保留とした旨の報告があった。

5 国立大学法人静岡大学役員報酬について

山崎委員から、4月にメール審議を行い、承認された役員報酬について、資料4により報告があった。

また、山崎委員から、川勝委員から、同手当について、日当による支給について検討のしてはどうかとの提案があった旨紹介があり、今後の課題として、月額支給の是非について、他大学の状況を含め検討したいこと及び、現在、非常勤役員手当について、月額としている理由について以下のとおり説明があった。

【月額としている理由】

監事の職務については、業務監査、会計監査等多岐にわたるため、安定的な職務遂行をお願いするという観点から、本年度分の報酬については月額とした。

6 その他

委員から、報告事項1、2及び3の事項について、静岡大学の誠実な姿勢が見えるものであり、評価できる。今後も引き続きお願いしたいとの意見があった。

以上